

2017 人権特集号



市制施行60周年

輝く未来へ、ともに進もう!

7月は差別をなくす強調月間 毎月11日は人権を確かめあう日



はすいけ かおる

講師 **蓮池 薫** 氏

会場：市民会館大ホール

受付：13時

開会：13時30分

第46回 差別をなくす市民集会
テーマ
『夢と絆』
『拉致が奪い去ったもの』

7.8
(土)

活動略歴 1957年新潟県柏崎市生れ。新潟産業大学准教授。1978年中央大学法学部3年在学中に拉致され、24年間、北朝鮮での生活を余儀なくされる。帰国後、同大学に復学し卒業。訳書に「孤将」「私たちの幸せな時間」「トガニー幼き瞳の告発」など多数。著書に「半島へ、ふたたび」「蓮池流韓国語入門」「夢うばわれても」「拉致と決断」などがある。

7月6日(木)

人権・同和問題講演会

場所 人権総合センター

時間 19時～20時30分

講師 栗木 剛さん

7月10日(月)

特設人権相談

場所 牧野公民館

人権総合センター

賀名生公民館

大塔支所

時間 10時～15時

(大塔支所は13時～15時)

人権擁護委員が相談に応じます。

人権啓発ポスター

を 紹 介 し ま す



阿太小学校2年 大曲育実



阪合部小学校1年 棚本 岳



野原小学校4年生 芋生美咲



阪合部小学校4年 坂本響生



北宇智小学校4年 小坂里緒



西吉野小学校2年 田村奈菜

差別をなくす強調月間に、市内の小・中学生を対象としてポスターと標語を募集したところ、ポスター1876点と標語1022点の応募がありました。その中から優秀な作品を紹介します。
(敬称略)



五條東中学校3年 田中里歩



牧野小学校6年 米原理子



西吉野小学校5年 川崎永愛



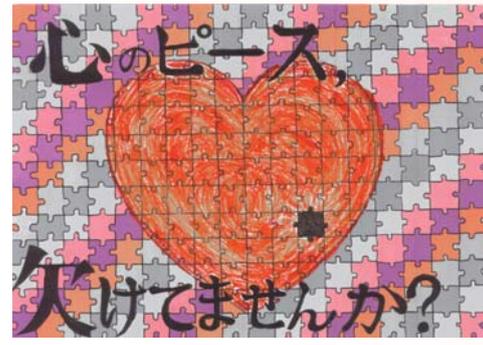
五條西中学校1年 清水大地



宇智小学校6年 岸本彩伽



五條中学校3年 山本紗也



五條東中学校2年 林 早紀

人

権

啓

発

標

語

と

- ▼「思いやり」そのひと言で 笑顔がふえる 五條中学校2年 山下純平
- ▼人はそれぞれ色がある 言葉もそれぞれ色がある 五條中学校3年 北山一葉
- ▼大丈夫!! 話してみても 辛いこと 五條東中学校1年 古谷聡羅
- ▼人は白いキャンバス 虹色にもなれば 黒色にもなる 五條東中学校2年 小川颯木
- ▼あなたに分かる? 傷ついた心の痛み 五條西中学校1年 藤本未来
- ▼咲かせよう 個性あふれる 笑顔の花 五條西中学校2年 元谷真愛
- ▼いじめるな 言えない君も いじめっ子 野原中学校 3年 大前優菜
- ▼笑ってる 君がすごく ステキだよ 西吉野中学校1年 水本吏音
- ▼助けられ 助けて生きる 日々毎日 西吉野中学校 3年 浦平仁太郎
- ▼その言葉 一步止まって 右左 智辯中学校1年 山口瑞月
- ▼挨拶は 笑顔にできる 魔法だね 智辯中学校2年 竹原希々子
- ▼伝えよう 君の言葉で 変わるから 智辯中学校3年 和泉咲良



毎月11日は「人権を確かめあう日」です

と 展 示 会

ポスター・標語展示会 下記の日程で市内各所で展示しています。

	展示場所	展示期間
ポ ス タ ー ・ 標 語	市民会館	7月8日(土) 市民集会当日
	市役所、五條郵便局、南都銀行五条支店 市ホームページ・こまどりケーブル	7月31日(月)まで
	イオン五條店	7月10日(月)～ 31日(月)
ポ ス タ ー	人権総合センター、JA五條支店・ 北宇智支店、田園・大阿太・南阿 太郵便局、五條児童館、阪合部文 化会館、二見文化体育センター、 カルム五條、西吉野支所	8月31日(木)まで

～共に学ぼう男女共同参画社会～

「いつか」ではなく、今から始めよう。
自分らしく生きることを。



「仲間はずれ」

市内小学6年生

ぼくは、仲間はずれをされたこともあるし、見たこともある。もしかしてしたこともあるかもしれない。

仲間はずれをされたとき

きは、自分が悪いから仲間はずれにされているんだと思った。でも、仲間はずれにされている人を見たとき、その人は、何も悪くないと思った。ぼくも良く考えたら、何も悪いことはしていないと思う。

ただ、人と言いかいになつたときに上手く言えなくて、誤解をされたときに一人の子がみんなにぼくの悪口を言っていた。

言われた子は、何も知らないのにその話を聞いて、ぼくの悪口を言った。こうして一対一のケンカが、一対たくさんの人になつて仲間はずれにされた。

仲間はずれにされているとき

ときは、学校は楽しくない。家でも楽しくない。毎日どこにいても何をしても楽しくなかった。そしてぼくはその悪口を言っていた子と仲直りをした。そうしたら、他のみんなもぼくと仲良くなつた。今はそんな事は無くなつた。

仲間はずれは、一人から始まり、無責任に楽しむたくさんの人によって

広まる。人は深く考えないで、人を仲間はずれにするし、すぐにそのことを忘れる。しかし、仲間はずれをされた人は、一生忘れられないくらい深く傷ついている。

仲間はずれを無くすには、まず自分がされたら

どんな気持ちになるのかを考える。された人は、仲間はずれしている人にはっきりと嫌だということを言えればいいと思う。

ぼくは、仲間はずれにされたときのしんどい気持ちや覚えているから、人に同じ思いをさせたくないと思う。

2016年度五條市人権教育研究会
人権作品集「くらしをつづる」第50集より

2017年度

第27回 明るい差別のない 職場づくり 標語入選作品

(順不同 敬称略)

考えよう その行動と

その言葉

村上 和史

関西電力(株)

五條技術サービスセンター

声を出す 勇気があれば

一人前

林 嗣夫

(株) シンワ

先入観 はずして見れば

みな仲間

中島 祥和

(宗) 辯天宗

どうしたの? 声かけあって

明るい職場

田中 俊博

光洋機械工業(株) 五條工場

気付こうよ 身近な人の

SOS

坪倉 有加里

広陵化学工業(株)

目配り 気配り 思いやり

つないで作る 明るい職場

窪田 裕之

(株) 十川ゴム 奈良工場